事業所名 グループホーム 楽家 習志野

作成日: 平成 29年 8月 25日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具 体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	定期的にカンファレンスを実施して関係者が話し合って介護計画を作成していますが、アンケートからは話し合いが無いという声もある為、本人、家族の意向を確かめ、確認を取ることが望まれます。	定期的にカンファレンスの確実な実施と話し 合いの機会を設ける。	3か月更新時や、著しく体調や疾病、ADLに変更があった際にはご家族様に来施して頂く機会を作り、ご説明していく。また、遠方にいらっしゃるご家族様もいらっしゃるため、ご意見欄を介護計画に作成する。	3ヶ月
2	4	運営推進会議は、年6回以上の開催が望ましい とされています。今後は地域包括支援セン ター、自治会と連携を深め、ホームの年間行事 予定の中に組み込み、目標に近づけていくこと が望まれます。	年間6回を目標に行っていく。	年間予定表を作成し、運営推進会議メンバーに 周知し、事前に参加をうながしていく。	6ヶ月
3	35	高齢者も多い(90歳以上が7名)ので、地域の 方々の協力体制が必要だと思われます。運営 推進会議や回覧板等で呼びかけ、消防署、地 域住民(自治会)と連携し、合同の災害避難訓 練実施が望まれます。	地域との連絡体制を強化していく。	まずは自治会の加入と、運営推進会議で地域の 避難訓練実施状況と避難先を確認する。昨年度に行った消火・避難・通報訓練に地域の方の参加を促していく。 また災害備蓄の点検管理を継続する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。